季節風

2015.10.1
№１８
山鹿市立鹿北中学校
文責：郡　一路

☆中間テスト☆

今日、十月一日（木）から二日間、中間テストが実施されます。今までの学習の定着を知る上でも大切なテストです。点数が気になるところですが、自分がどの分野の理解が安定していて、どの分野の理解が不安定なのかを見つめることが何より大切となります。間違えたり、できなかった問題を復習することで、わかるようになる。そのために、先生や友だちからアドバイスをもらう。

そんな姿がいろいろな所で見られる学校を創っていきたいと考えています。

部活動検討会議

十月十五日（木）に今後の部活動の方向性についての話し合いを行います。

参加していただくのは、ＰＴＡ執行部の方々、各部活動の保護者代表の方々です。

小学校の部活動が数年後には社会体育へ移行することも含めて、地域で活動しているスポーツなどを中心に、再編の必要があると考えています。今後、新設、休部、または廃部なども視野に検討を重ねていくことになります。

部活動のあり方についてご意見等をお持ちの方は、事前に各部の保護者会長にお話をしていただければと思います。よろしくお願いします。

歌声が響く学校！

朝や昼休みに、教室や音楽室、体育館から歌声が聞こえてきます。とても豊かな気持ちになります。実際に行ってのぞいてみると、懸命に練習をしています。そして、うれしくなります。一生懸命頑張ることが当たり前の雰囲気がある学校。この校風を、ぜひみんなで大切にしてほしいと思います。

さすが高校生！

二十六日（土）、鹿本高校文化祭、二十七日（日）、鹿本農業高校体育大会に行ってきました。

両校とも、様々な工夫を凝らし、生徒の笑顔があふれ、高校生の頑張りが伝わってくる文化祭や体育大会でした。

高校生ともなると、企画、運営などに積極的に携わり、自分たちで創り上げた場面がいくつもあり、「さすが高校生！」と感動させられました。

「三年生も、一年後、高校生活の様々な場面で、充実した生活を送っているのだろうな！」などと考えながら、楽しい時間を過ごしました。

フィンランドの教育

世界トップクラスの学力！その秘密は？

多様なジャンルの本を幅広く読んでいる子どもほど「読解力」が高いと言われますが、フィンランドは「読書を趣味」とする生徒の割合が世界で最も高く、生徒の４１％が「読書を趣味」と考えています。

読書をすると言語力、読解力などの国語力がアップします。この国語力が、全教科においては必要となります。

たかが読書、されど読書です。フィンランドの子どもたちは、年間の授業日数が日本より４０日も少なく、塾にも行かず、家庭教師もいません。そんな中で、高い学力を保っているのですから、読書の重要性がわかります。読書であればすぐに実践できるのではないでしょうか♪